

令和 6 年度
お客様支援部
居宅介護支援事業所 亀天荘
事業報告書

令和6年度 居宅介護支援事業所 事業報告書

(運営理念)

ご利用者が、住み慣れた地域で生活が続けられるように、自立支援の考え方を基本とし、ご利用者やその家族が福祉や医療との繋がりを持ちながら、日々安心して暮らせるように支援します。また福祉や医療、地域との関係性を持ち、居宅介護支援事業所亀天荘として深く信頼して頂けるように努めます。

(運営方針)

- ① ご利用者や家族、地域の方からの情報を収集し、ご利用者や地域の課題分析を行いながら相談に対応できるようにします。
- ② 福祉サービスを利用する際の亀天会の窓口となり、地域と各サービス事業所を繋げられるように事業所との連携強化を行います。
- ③ 地域包括ケアシステムの深化・推進において、医療が必要な方でも安心して在宅生活を送れるように、医療機関や福祉サービス事業所との連携を図ります。
- ④ ケアマネジメントに関する知識を高めるため、地域包括支援センターや医療機関との連携や、研修の実施を行っていき質の高いケアマネジメントを提供出来るように努めます。

(重点目標)

ご利用者や家族が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように、医療や介護の連携を図りつつ様々なサービスを組み合わせながらケアマネジメントを行っていき、ご利用者が望む暮らしが実現出来るようにします。

- ① 訪問・面談の際は、相談者の話を傾聴し、ニーズの把握に努め介護保険サービス及びフォーマル、インフォーマルサービスを組み合わせた提案を行うと共に地域資源の把握に努めました。
- ② 居宅介護支援事業所として、法人内各施設のサービス担当者との情報共有、医療機関との連携を図りました。法人内で感染対策が必要になった際にも事業所と連携を図り、利用者様にサービス提供が出来るよう対応し施設利用につなげることが出来ました。

- ③ 介護保険担当課、危機管理課、地域包括支援センター、民生委員と連携を図り、西条市個別避難計画の作成を行いました。利用者様が生活する場所が災害時に危険区域になっているか等の確認が行えました。また、地域包括支援センターと連携し、要介護の認定になった方の受け入れを積極的に行い、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう努めています。
- ④ 介護保険の申請、福祉サービスの申請の手続きを代行することで、地域の方や利用者様が円滑に必要なサービスを利用できるよう努めました。新しいサービスについても情報収集を行い、利用者様へ提案できるよう努めました。

(研修計画について)

感染症や自然災害におけるBCPに対する研修を実施し事業継続が安定して行え、利用者に対する支援が適切に提供するためには、何が必要かを研修を通じて学びました。虐待やハラスメント等についても研修を実施し、高齢者の人権や尊厳が尊重される環境作りのために何が必要かを考えることが出来ました。他事業所との合同事例検討会へ参加し、他のケアマネからの意見を聞くことで、ケアマネジメントの視点を広げることが出来るよう努めました。西条市が行うケアマネ連絡会での研修にも積極的に参加し、知識の習得に努めました。

(3) その他の重要な取り組み

① 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

居宅介護支援事業所においては引き続き、支援者としての健康管理・感染対策を徹底し、私たち自身が媒介者とならないように細心の注意を行いました。また、ご利用様が利用されている施設内で感染症が発生した場合には、連絡調整を迅速に行い、サービスが滞りなく利用できるよう調整を実施しました。

② ハラスメント対策

ハラスメントに関して、事業所内で研修を実施しハラスメントについての理解につとめました。現在のところ、事業所内でのハラスメントについては職員間、ご利用者、ご家族からも見られていませんが、何気ない言葉や行動がハラスメントにつながる場合があることを認識し今度も対応を実施していきます。

③ 地域における公益的な活動

西条市個別避難計画の作成にあたり、民生委員と連絡を取り、情報共有を行いました。河北会館祭りに関しては、西条市包括支援センター東予が参加され居宅介護支援事業所は不参加でした。令和7年度は参加する予定とし、地域の方との交流の機会が持て、介護保険情報の発信や地域の課題の情報収集に努めたいと思います。

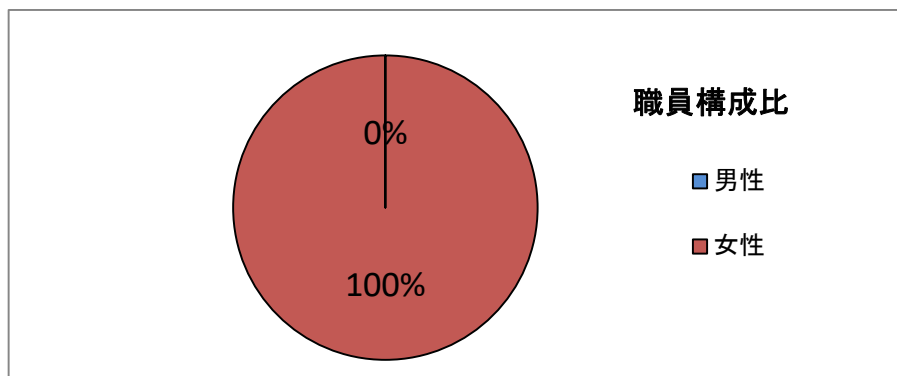


1. 事業所

① 概要

事業所名	社会福祉法人 亀天会 お客様支援部			
事業所種別	居宅介護支援			
事業所住所	西条市三芳1535番地1			
管理者職名	管理者 大西里香			
職員数	男性	女性	総数	1名芳苑兼務の為、総数1,5
	0	2	1,5	

(令和7年3月31日現在)

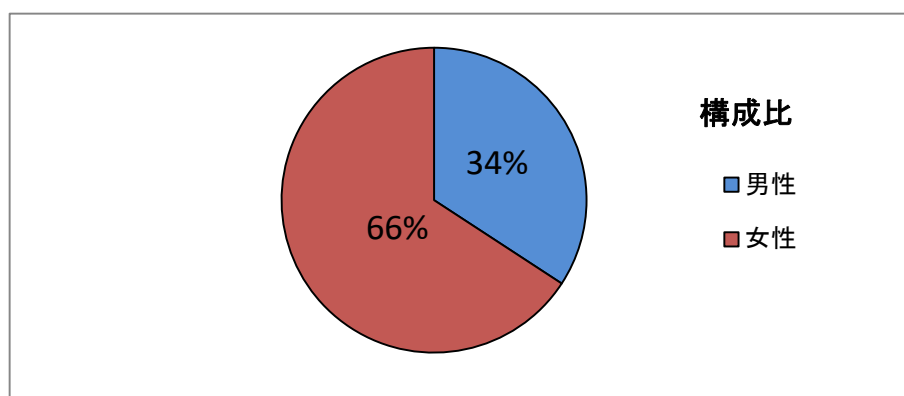


②職員紹介

居宅介護支援事業所では、2名の介護支援専門員が所属しております。平成23年3月主任介護支援専門員資格を取得。その後、法人内の小規模特養、ケアハウス、地域包括支援センターで勤務。令和5年9月より居宅介護支援事業所所属となりました。法人内や地域の介護支援専門員の質の向上が図れるように努め、地域の高齢者、ご家族が安心して生活が送れるよう業務にあたっています。また、地域包括ケアシステムの構築を行う為に、地域包括支援センターや医療機関等との連携強化、法人内の各事業所との連携を図りながら、地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らしづけるという意向に沿えるように活動を行っています。今後も、各機関との連携を図りながら居宅介護支援事業所の役割を果たす事が出来るように努めていきます

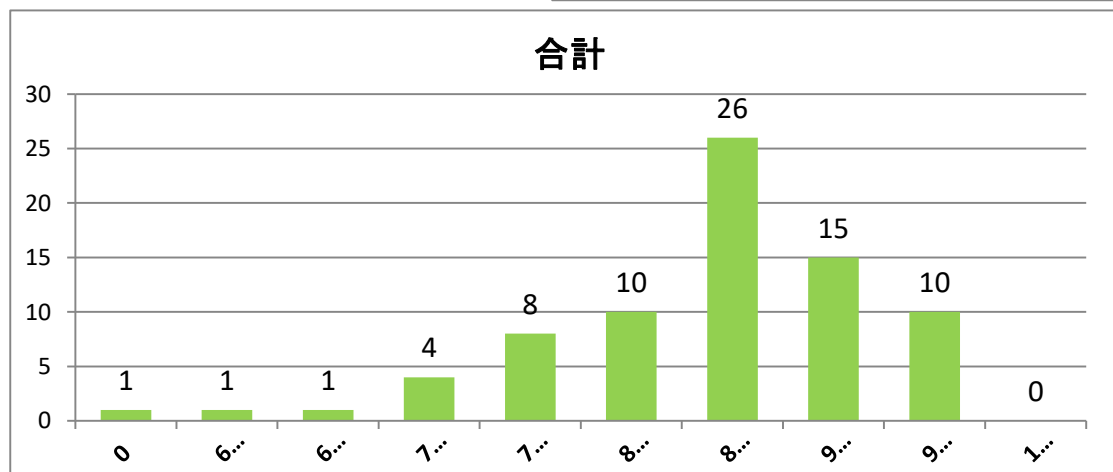
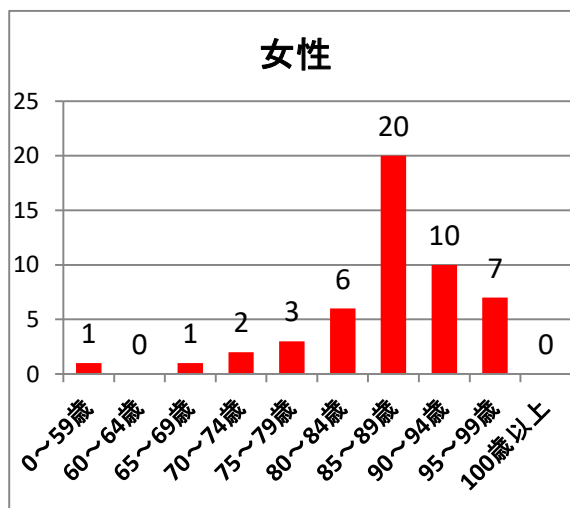
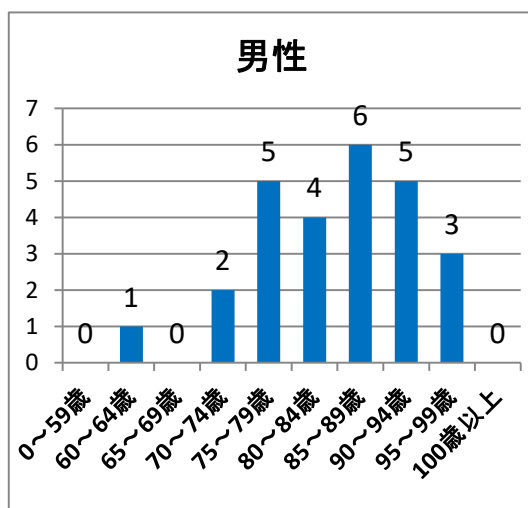
2. 定員及び現在人員(令和7年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
66	76	26	50



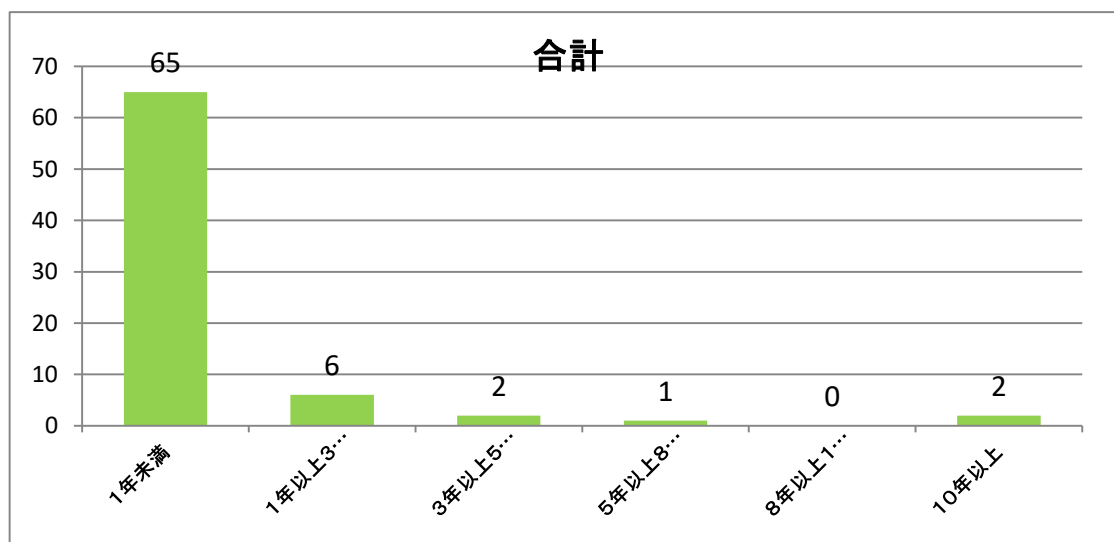
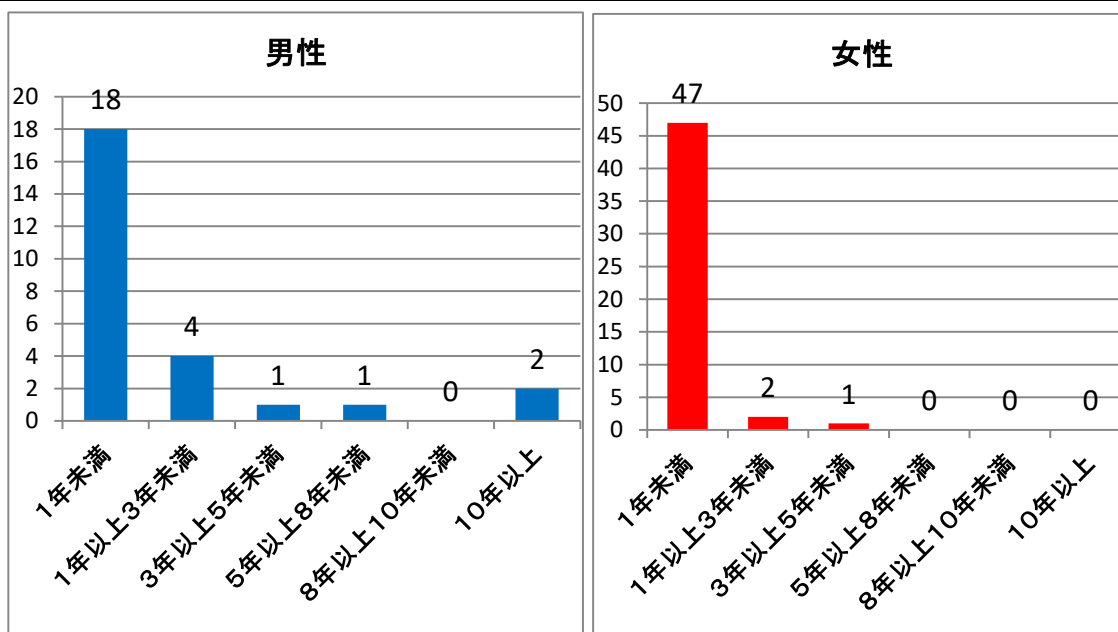
3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	1	1	1.01%
60～64歳	1	0	1	1.01%
65～69歳	0	1	1	1.01%
70～74歳	2	2	4	4.04%
75～79歳	5	3	8	8.08%
80～84歳	4	6	10	10.10%
85～89歳	6	20	26	26.26%
90～94歳	5	10	15	15.15%
95～99歳	3	7	10	10.10%
100歳以上	0	0	0	0.00%
合計	26	50	76	76.77%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	99	72	86.28	85.66
女性	97	62	84.46	



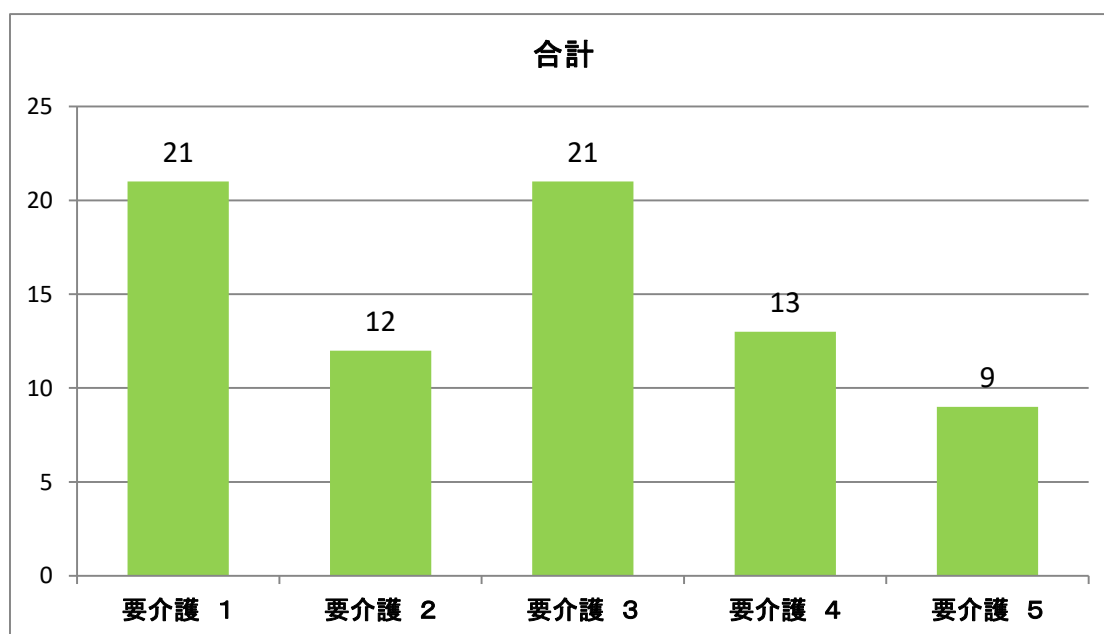
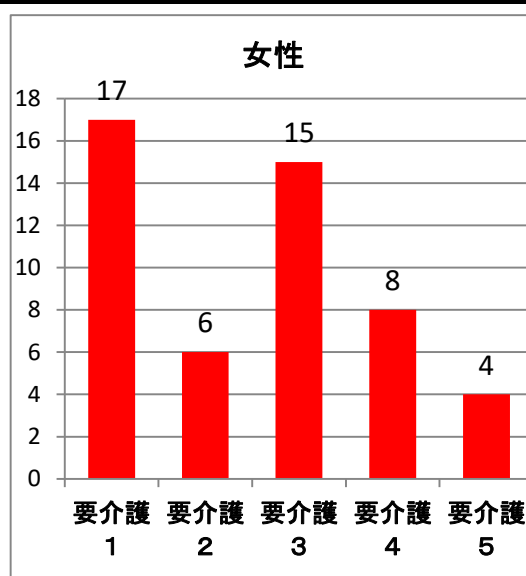
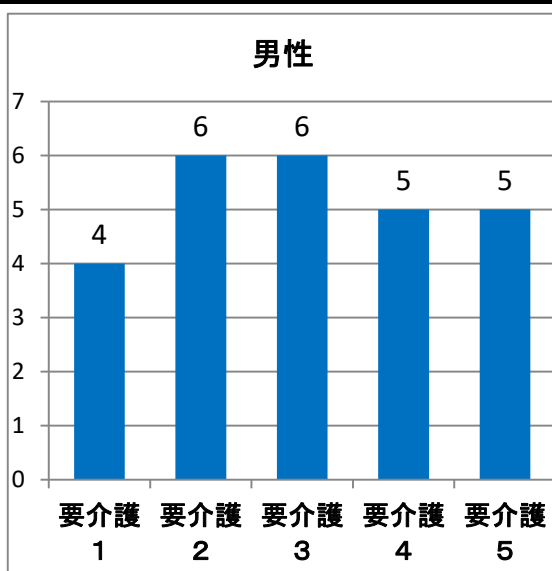
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	18	47	65	65.66%
1年以上3年未満	4	2	6	6.06%
3年以上5年未満	1	1	2	2.02%
5年以上8年未満	1	0	1	1.01%
8年以上10年未満	0	0	0	0.00%
10年以上	2	0	2	2.02%
合計	26	50	76	76.77%
平均入居期間	26, 27ヶ月	5, 72ヶ月	12, 75ヶ月	



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	4	17	21	21.21%
要介護 2	6	6	12	12.12%
要介護 3	6	15	21	21.21%
要介護 4	5	8	13	13.13%
要介護 5	5	4	9	9.09%
合計	26	50	76	76.77%
平均介護度	3, 04	2, 52	2, 7	



6. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	①介護保険改正について ②倫理及び法令遵守について	管理者	3名
5月	①虐待について ②認知症ケアについて	管理者	3名
6月	BCPIについて	管理者	3名
7月	ハラスメントについて	管理者	3名
8月	秘密保持について	管理者	3名
9月	BCPIについて	管理者	3名
10月	虐待について	管理者	3名
11月	苦情対応について	管理者	3名
12月	BCPIについて	管理者	2名
1月	①看取りケアについて ②医療との連携について	管理者	2名
2月	感染症について	管理者	2名
3月	BCPIについて	管理者	2名

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
6月	合同事例検討会	合同事例検討(ケアプランセンター共立病院・居宅虹の花合同)	介護支援専門員
9月	ケアマネ連絡会	「BCP・災害に向けた準備と連携」「成年後見制度」	介護支援専門員
R7年2月	合同事例検討会	合同事例検討(ケアプランセンター共立病院・居宅虹の花・社協合同)	介護支援専門員
R7年2月	ケアマネ連絡会	「精神障がい者 当事者及び家族支援」	介護支援専門員

7. 行事・クラブ活動及びボランティアの受入れ実施状況表

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
11月	河北会館	ふれあい祭り: 西条市地域包括支援センター東予が参加	0

8. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和6年度		特になし

